

[抵抗性雑草にトドメの一撃] [AVH-301]

AVH-301 の開発の背景

AVH-301（テフリルトリオン）はＪＡ全農とバイエルクロップサイエンス株式会社、北興化学工業株式会社が共同開発した、水田の非イネ科雑草防除用の農薬原体です。AVH-301 は現場で問題となっているＳＵ剤抵抗性雑草やイボクサ、クサネム等の特殊雑草に対しても特に高い効果を発揮します。この AVH-301 について、農薬研究室では、2002 年より開発研究に取り組み、様々な試験を実施しています。また、原体の安定供給のための原体・原料・製剤の品質試験も実施しています。



AVH-301 の特長

① ＳＵ剤抵抗性雑草に卓効

AVH-301 はＳＵ剤と全く異なる作用を示すため、ＳＵ抵抗性雑草にも高い効果を示します。特に多年生の難防除雑草「オモダカ」にも抵抗性雑草が出現し、事態はより深刻になっていますが、AVH-301 は「オモダカ」にも高い効果を発揮します。

② 幅広い草種に高い効果

AVH-301 は広葉剤として、イネ科以外のほとんどの主要水田雑草に高い効果を示します。特に従来の一発剤では残り易かったクサネム、イボクサ、アメリカセンダングサ等のいわゆる特殊雑草にもより高い効果を示します。

③ 速い効果の発現

AVH-301 を処理すると、雑草は速やかに白化症状を示し、その後枯死に至ります。効果が実感できるので、安心して使えます。